

令和8年度

運営に関する計画



大阪市立常盤小学校

大阪市立常盤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【基本理念】(令和8年度～令和11年度 大阪市教育振興基本計画より)

- ・ 全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立すること
- ・ グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となること

教育目標・めざす子ども像 「しんの強い子」

- 自分の考えを持ち、目標に向けて自らすすんでねばり強くやりとげる子
- 偏りのない価値観を持ち、正しく判断し、適切な行動がとれる子
- やさしく思いやりのある子
- 自ら進んで運動に親しむとともに、自分の体を大切にしようとする子

めざす子ども像を具現化するために→「生きる力をはぐくむ教育を推進する」

1. 自ら課題を見つけ考えとともに、その課題解決に向けてねばり強く取り組もうとする態度を育てる。
2. これまでの経験や体験等から、何が大切なことか、どうすることが正しいのかを考え、自分の行動を高めようとする態度を育てる。
3. 一人一人(自他共に)が大切な存在であることを意識し、自分を律する心や人を思いやる心を育てる。
4. 健康や体力に関心をもち、力強く生きようとする態度を育てる。
5. 他者の気持ちが分かり、互いに認め合える集団を育てる。

【安全・安心な教育の推進】

豊かな人間性の育成

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などを育てる。

○学級指導・生活指導の充実

- ・ 組織的な生活指導の徹底（全教職員で児童への声掛けの実施など）及び研修の実施
- ・ 「いじめ」等の生活指導上の諸問題についての「未然防止」「早期発見」「早期解決」に向けた取組の推進
- ・ 一人ひとりのよさを認め合う指導、人間関係力の育成（ピアサポート活動等の取組）
- ・ 学習規律の徹底（整理整頓・机を整える・足元のごみを捨てる、など）、授業前の挨拶

(様式1)

や授業後の挨拶の徹底、授業中の姿勢の意識向上、椅子を片付ける・靴を揃えるなど
当たり前のことを当たり前にすることの徹底、など)

○当事者意識の育成

- ・ 「返事力」の向上（名前を呼ばれたら「はい」と返事をする、頼まれたことに「はい」と肯定的な返事をする、笑顔を大切にする、など）
- ・ 「挨拶力」の向上（朝の登校時の指導の複数体制の実施・学級や学年での毎日の継続指導など）
- ・ 「美化意識」の向上（毎月17日の「きれいっていいな」活動の充実・教室や廊下のごみすての徹底・トイレ掃除の日常的な点検の実施など）

○道徳教育の充実

- ・ 学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた計画的な道徳授業の実践
- ・ 道徳の時間にとどまらず、あらゆる機会を活用した道徳教育の実施

○人権教育の推進

- ・ 教職員の人権意識の向上
- ・ 人権教育指導資料の活用（実践）

○不登校等への対応の充実

- ・ 子ども一人一人の生活背景を見据えた、教員のカウンセリングマインドの向上をめざした研修の実施
- ・ 家庭訪問の積極的な実施、学年や学校全体での組織的な対応の実施

○ふれあい教育活動の充実

- ・ 学年活動の活性化→学年単位での活動を重視
- ・ 異学年交流による思いやりの心情の育成（1・6、2・4、3・5）
- ・ 地域・関係諸機関のゲストティーチャーの招聘
- ・ 保幼小連携の充実→常盤幼との相互授業参観をめざす

○小小連携、小中連携の活性化

- ・ 高松小学校との交流活動、阿倍野区内の小学校との交流（小体連スポーツ交歓会）への積極的参加
- ・ 文の里中学校との連携の充実を図り、高学年児童の中学校生活への不安感の払拭（クラブ見学、出前授業、生徒会による学校紹介）

児童の安全の確保

児童が安心して過ごせる学校等の環境を提供するとともに、災害等から身を守るための能力、資質を身につける。

○安心して過ごせる学校、家庭、社会に向けて

- ・ 「心の天気」の全クラス確実な入力による子どもの心身の状況把握
- ・ 「ときわっ子ルール」や「学校安心ルール（大阪市スタンダードモデル）」の児童や保護者への周知や、指導や対応での活用
- ・ 体罰、暴力・暴言行為の根絶に向けた研修の実施
- ・ 完全施錠の実施（本校・分校正門、講堂門扉）
- ・ 校内事故の減少（学校のきまりの徹底と施設設備の安全点検の徹底）

- ・ 保護者に対する朝の見守り活動についての啓発活動実施
- ・ 防犯体制の確立→不審者対応訓練の実施
- ・ 緊急時における児童引き渡し訓練の実施
- ・ 個人情報の徹底した管理
- ・ 児童虐待の早期発見と対応（児童の家庭でのようすや状況について、日常的な接触等から情報を収集、「常盤小学校不登校等連絡会」「スクリーニング会議」の活用、子ども相談センター・要対協・区子育て支援等の関係諸機関との連携、など）

○安全教育の推進

- ・ 防災教育の推進→地域防災との連携による実際的な防災教育の取り組み
→防災教育の年間指導計画の策定
- ・ 交通安全指導の推進（通学路の安全確保、校外活動の安全実施）
- ・ 阿倍野消防署や町会と連携した防災教室の実施

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学びに向かう力の育成

基礎・基本を確実に身に付けるだけでなく、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につける。

○総合的読解力育成プログラムの実施

○専門性を持った教員による専科指導の充実

- ・ 英語、理科、体育の専科指導加配教員の配置
- ・ 定数内の教員による音楽、家庭における専科指導の実施
- ・ 大阪市学力経年調査の標準化得点の向上
- ・ 特別支援教育の充実

○学習意欲を喚起する授業の創造

- ・ 課題解決学習を基本とした授業実践
- ・ 体験活動を重視した授業の構築
- ・ 全員参加の授業の実施（ハンドサインの実施、全員で声を出す活動の積極的な実施、相手の話をうなずいて話を聞く態度の育成、児童が授業中に何でも言える環境づくりや態度の育成、など）

○教員の研究研修活動の充実

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の充実深化
- ・ 授業研究会の実施
- ・ スクールアドバイザーと協働した若手教員の指導力育成
- ・ 実技を伴う研修会の実施
- ・ 一人一台学習端末の効果的な活用に向けた技量アップに向けた研修会の実施

○自主学習習慣の確立

- ・ 家庭における学習習慣の確立をめざし、基礎的・基本的な学習内容を繰り返し行い、確実に身に付ける。→ 学習者用端末を活用した「ミライシード」「ナビマ」の取組強化・学習者用端末の家庭での有効活用についての研究や各学年の取組の情報共有など

(様式1)

- ・ 朝の学習タイムの効果的な活用
- ・ 読書習慣を身につける。ボランティアの方々（「とんぼさん」の協力）による図書館開館回数を増やすとともに読み聞かせを充実させる。

○国際理解教育の推進

- ・ 専科教員及び C-NET による外国語活動の充実
- ・ 多様な文化を尊重する態度の育成（外国にルーツをもつ児童から学ぶ）
- ・ 日本語指導が必要な児童への日本語指導の実施・充実・学級担任と担当教員等との連携や情報共有などを通じた継続した支援の実施

健康・体力

将来にわたって、たくましく生きるための健康習慣や体力を培う。

○基本的生活習慣の確立

- ・ 児童への「早寝・早起・朝ごはん」の声掛け及び保護者への啓発

○運動することを好きだと思える子どもの育成

- ・ 遊び時間の工夫
- ・ 体育授業の充実（専科教員からの発信）

○健康に関する意識の向上と実践

【保健指導の充実】

- ・ 手洗いの定着（トイレのあと、食事の前、遊んだあと）
- ・ 家庭への啓発（ミマモルメでの情報発信）
- ・ 学校保健委員会による啓発

【食育の推進】

- ・ 家庭への啓発、PTA との連携
- ・ 毎月19日の「食育の日」の取組の充実

【学びを支える教育環境の充実】

○デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・ ICT教育の充実→日常的にICT機器を授業に導入し、学習の効率化を図るとともに、対話的な授業の構築の一助とする。

○家庭・地域等との連携・協働した教育の推進

- ・ 防災教育の推進→消防署、区防災担当と連携した実践的な防災教室
- ・ 交通安全指導の推進（通学路の安全確保、校外活動の安全実施）
- ・ 地域・関係諸機関のゲストティーチャーの招聘

○働き方改革の推進

- ・ スクールサポートスタッフ、ワークライフバランス支援員を活用した業務の軽減
- ・ ゆとりの日の設定（月2回）

○カリキュラム・マネジメントの充実

- ・ 「裁量的な時間」をはじめ、柔軟な教育課程による余白を生み出すための調整授業時数制度運用の具体的方策の検討や研究の実施
- ・ 「裁量的な時間」（ホップタイムなど）の設定や運用方法の検討

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

1. 校内アンケートや小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
2. 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

3. 小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
4. 小学校学力経年調査における、「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
5. 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
6. 小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

7. 小学校学力経年調査における、「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
8. 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

(様式1)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

1. 校内アンケートや小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
2. 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

3. 小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
4. 小学校学力経年調査における、「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
5. 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
6. 小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

7. 小学校学力経年調査における、「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。
8. 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月26時間以下とする。

大阪市立常盤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安心・安全な教育の推進】 1. 校内アンケートや小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 2. 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 相互理解、仲間づくりの取り組みを、日々の教育活動の中で行うようにする。小さな問題にも、チームで対応していくようにする。	
指 標 校内アンケートにおける「友だちをいじめることは、してはいけないことだと思いますか。」「友だちがいじめられていたら、止めたり大人に知らせたりしたいと思いますか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合をどちらも95%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 子どもの安全に関わるものに重点を置くようにする。(廊下や階段は走らない、教室で暴れない、運動場やボールの使い方など)校則の目的や意図、ルールを守る大切さについて指導するようにする。	
指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「心の天気」の入力・活用を推進し、児童の心情の変化を把握することで、	

(様式2)

<p>児童のケアやサポートなどの早期対応につなげていく。</p>	
<p>指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳の学習や学級活動、朝の会・終わりの会、月1回以上の「縦割りペア集会」、「ときわのつどい」など、各種教育活動や学校行事の実施を通して、児童の自己肯定感を高める。</p>	
<p>指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 素直な姿勢を育み、礼儀やマナーの定着やコミュニケーション能力の向上を図る。</p>	
<p>指 標 児童アンケートにおいて、「名前を呼ばれたら『はい』と声を出して返事できていますか」という質問に対して、肯定的に回答する児童を92%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 相手意識を育み、いつでもどこでも誰にでも自分の思いや考えを表現できる力を育成する。</p>	
<p>指 標 児童アンケートにおいて、「朝の登校時に、いつも声を出して挨拶できていますか」という質問に対して、肯定的に回答する児童を95%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

大阪市立常盤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>3. 小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>4. 小学校学力経年調査における、「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>5. 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>6. 小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内研究で国語科の研究を行い、研究授業を各学年1回以上、公開授業を各自1回以上実施し、授業の中で児童が主体的な学びに向かうことができる工夫を行う。</p>	
<p>指 標</p> <p>小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童が自分の考えをもち話し合うことができるような活動を、毎日の授業の中で取り入れる。</p>	

(様式2)

<p>指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「全員参加の授業」に取り組み、児童一人ひとりの自己有用感を高める。</p>	
<p>指 標 児童アンケートにおいて、「授業中にハンドサインや挙手、うなずきなどで授業に参加することができていますか。」という質問に対して、肯定的に回答する児童を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>自然の事物・現象とのかかわりを大切にし、体験を重視した授業づくりや観察・実験の充実を図り、ICT 機器を活用した観察・実験の記録を取り入れ、学習のふりかえりを行うことができるようにする。</p>	
<p>指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における、「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年間指導計画に沿って授業を行い、様々なスポーツの楽しさや喜びに触れられるようにする。・ 教職員に向けた研修会、なわとび週間、かけあし週間等の取り組みを行い、教員の資質能力の向上を目指すとともに、児童が主体的に学ぶことができるようにする。・ 体育の見方・考え方（する・みる・支える・知る）をバランスよく取り入れた授業を行う	
<p>指 標 校内アンケートや小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

大阪市立常盤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 7. 小学校学力経年調査における、「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。 8. 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月26時間以下とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ICT活用についての教員研修を学期に1回以上行ったり、毎月1回以上担当教員間での情報交換を行ったりすることで、学校全体でICTの効果的な活用を推進する。	
指 標 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> 校務分掌表を変更して業務の役割分担を見直し、学校全体での業務効率のさらなる向上を図る。 校時表や学校行事の実施方法等の見直しを行い、より効率的かつ効果的な教育活動を追求する。 教職員は、勤務時間を意識した働き方を行う。「ゆとりの日（17:15までに退勤する日）」を月2回程度設定する。 スクールサポートスタッフを活用し、教員の業務軽減を図る。 	
指 標 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月26時間以下とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	